



小児センターでクリスマス会を開催！

毎年この時期に行っているクリスマス会を12月15日に小児センターで行いました。病棟保育士2名による企画に、医師をはじめ、病棟スタッフや小児担当のMSWも参加しました。小児センターのエレベーターホールに入院中の子どもたち、ご家族、学生が集まり、クリスマスデコレーションに囲まれ行いました。窓におかれたNPO絵本カーニバルから届いた沢山のクリスマス絵本も雰囲気盛り上げてくれました。

まずは山口教授の挨拶と恒例の手品で始まり、医師、MSWチームによるグラスベル、音楽療法士から歌のプレゼント、医学部学生のキンダーフロイントのバルーンショー、保育士と医師による即興劇で盛り上げてくれました。最後はサンタクロース（福田准教授）からのプレゼントで締めくくりました。

子どもたち、ご家族のみでなく、スタッフも気持ちの明るくなった会でした。

ご協力頂きましたNPOしまねこどもセンター、沢山のテディベアを送って下さった日本テディベア協会の方々に深謝いたします。



島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

1月15日～2月14日

対象者： **一般** 一般市民 **医療** 医療関係者 **本学** 本学教職員・学生

開催日	時間	開催名	場所(★印 学外開催)	対象者
1/15(金)	9:30～11:30	平成27年度 島根県がんリサーチ・ター相談会	外来・中央診療棟3階がフレイル・ムだんだん	一般
1/18(月)	15:00～16:00	誰でも参加できる糖尿病教室 「いびきが聞こえたら...。～無呼吸症候群について～」 「誰かに教えたいくなる“生活リズム”の話」	外来・中央診療棟3階がフレイル・ムだんだん	一般 医療
1/21(木)	18:00～19:00	平成27年度 医療機器の安全使用のための研修会および第2回病院医学教育研究成果報告会	外来・中央診療棟3階がフレイル・ムだんだん	医療 本学
1/28(木)	19:00～20:30	呼吸器・化学療法内科 患者さんと家族のためのセミナー	外来・中央診療棟3階がフレイル・ムだんだん	一般
1/30(土)	17:45～19:00	第17回出雲リハビリテーション研修会	★出雲医師会館	医療 本学
2/2(火)	18:00～19:00	平成27年度 医療機器の安全使用のための研修会および第3回病院医学教育研究成果報告会	外来・中央診療棟3階がフレイル・ムだんだん	医療 本学

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。



Shimane University Hospital
島大病院ニュース

2016年
1月
Vol.27

NEWS



CONTENTS

- ・年頭のごあいさつ2016
- ・病院ボランティア表彰式・感謝状贈呈式をおこないました
- ・小児センターでクリスマス会開催！
- ・島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報



年頭のごあいさつ 2016

病院長 いがわ みきお
井川 幹夫

あけましておめでとうございます。昨年も地域の医療機関から多くの患者さんをご紹介いただき、また職員の尽力により、過去最高の患者数、診療費用請求額となりました。今年も大学病院としてのミッションを果たすために、先進的医療・高度医療の提供、がん医療と急性期医療の充実、優れた医療人の養成等を継続的に進めます。

がん医療では、都道府県がん診療連携拠点病院である当院が県内拠点病院のハブ機能を果たすため、「希少がん外来」を開設し、肉腫、悪性脳腫瘍など治療法が十分に確立されていない症例について院内がんセンターで治療方針を決定する体制を構築しています。またB型肝炎ウイルスキャリアが化学療法（免疫抑制療法）を受ける際にB型肝炎ウイルスの再活性化を予防するシステムを開発し、安全な化学療法の実施に努めています。ロボット手術支援システムのダ・ヴィンチを用いた早期胃がん手術、子宮頸がん手術、3Dの腹腔鏡による精緻な消化器外科手術も行っています。手術に加えて新規薬剤による化学療法、IMRTなど高水準の集学的がん治療を推進し、拠点病院間の連携体制を整え、県全体のがん医療水準の向上に努力を重ねます。

先進的医療・高度医療では、母体血を用いた胎児の出生前染色体検査、妊孕性を温存した子宮頸がん手術、重症喘息に対する「気管支サーモプラスティ」療法の導入、大動脈弁疾患に対する自己心膜を活用した新規手術の計画などがあり、他に厚生労働省の承認を受けた先進医療が総計7件となりました。今年も高度医療の一層の充実を図ります。

救急医療では、4月から県全域を対象とする高度外傷センターが稼働を開始します。周産期医療もNICUの移転改修、GCUの設置などにより診療体制が向上します。

本年も当院が地域で果たすべき役割を十分認識し、地域の医療に一層貢献できる病院となるために日々改善に努める所存ですので、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



病院ボランティア 表彰式・感謝状贈呈式をおこないました

当院では、患者さんがより快適な環境で安心して治療を受けていただけるよう、院内の案内や環境整備、患者図書室「ふらっと」の補助、コンサート等様々な場面で個人および団体のボランティアの皆さんにお世話になっています。平成27年12月25日（金）、病院ボランティアの皆さんに井川病院長から表彰状並びに感謝状の贈呈がありました。

1年間継続的に病院ボランティア活動にご尽力いただいた方々を対象としており、昨年度は17団体と14名のボランティアの皆さんに贈呈されました。

現在活動されている方は、長年続けられている方がとても多く、最長で15年間活動されている方もいらっしゃいます。当院は、こうしたボランティアの皆さんの多大なるお力添えに深く感謝するとともに、これからもボランティアの皆さんとともに患者さんに快適な医療環境を提供できるよう、より一層の努力をまいります。

また当院では、新たにボランティアをしてくださる方を募集しています。病院ボランティア活動は、特別な資格を持たなくても、患者さんのお役に立ちたい、と考えている方でしたらどなたでもできます。お気軽にお問合せください。

問合せ先 医療サービス課 ボランティア担当 TEL 0853-20-2069

病院ボランティアさんから

この度は表彰ありがとうございました。

ボランティアをするにあたり、活動しやすい環境を整えて頂き、とても感謝しております。

今後も来院される方が気持ちよく利用して頂けるように努めたいと思います。





島大病院ニュース
2016年1月

お知らせ

ワークライフバランス川柳表彰式を行いました

ワークライフバランス（WLB）支援室と看護部WLB推進委員会では、【ワークライフバランス～仕事と生活の調和～】を考えるきっかけになればとの思いから、昨年も勤労感謝の日にあわせ 11月22日（日）～28日（土）にWLB週間を設けました。その活動として「わたしの働く源」写真募集、昨年に引き続きWLB川柳募集を行いました。

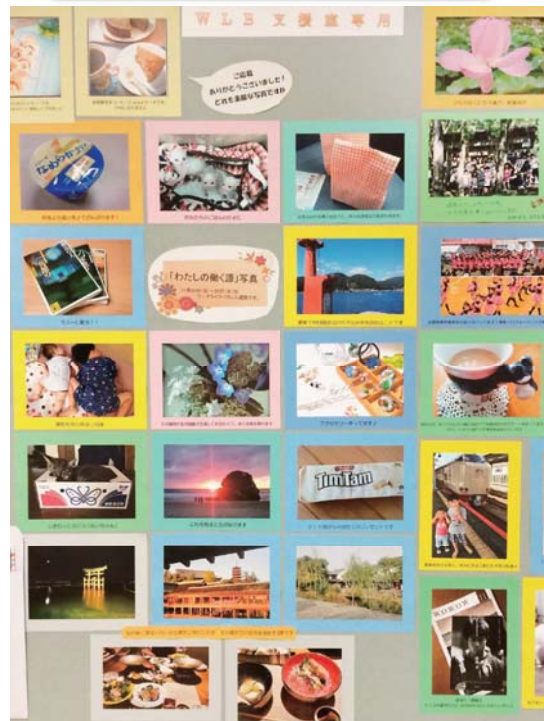
第2回WLB川柳は応募総数65首、どれも仕事と生活、子育て、介護等様々な視点から生みだされた力作揃いです。職員投票の結果、9名の方が優秀作品賞に選出されました。

11月26日（木）には、WLB相談室にて表彰式を行い、受賞者の方々に表彰状、各先生方からの副賞をお渡ししました。井川病院長からお祝いの言葉をいただいた後、散会しましたが、作品を通じて各々の想いを確認することができ和気あいあいとした表彰式となりました。



第2回WLB川柳 表彰作品

- ❀ 井川病院長賞 「夜勤明け 我が子の夜泣きで また夜勤」
「頻コール 家では妻から ラブコール」
「つらい時 わが子の笑顔に 救われる」
「熱心な 家族の姿に 親想う」
「傾聴し 患者と妻に 寄り添います」(ぴよん吉)
- ❀ 山口医学部長賞 「1度きり 自分の人生 思い切り!」
- ❀ 木下副病院長賞 「思いやり 家族に患者に 同僚に」(お疲れママ)
- ❀ 森田副病院長賞 「PNS 増えた呑み代 減る残業」(忍者走り)
- ❀ 齊藤副病院長賞 「なんだろう 寝ても覚めても とれない疲れ」(ジジ)
- ❀ 後藤事務部長賞 「休めない 時に限って 熱出す子」
- ❀ 秦WLB支援室長賞 「子育て中 ひよこのナースと 我が娘」(in腹ベイビー)
- ❀ 看護部WLB推進委員会賞 「見守って 我が子もチームも ぐんと伸び」(ほろほろ)
- ❀ WLB支援室賞 「子育てに 一息ついたら 次、介護」(微妙なお年頃)



島大病院ニュース
2016年1月

お知らせ

医師会・歯科医師会会員対象の人間ドックを実施して

ながい あつし
長井 篤
臨床検査科 診療科長

一昨年より開始した医師会会員様対象の人間ドックでしたが、昨年はさらに多くの先生方に受検頂きました。本当に有難うございました。一昨年、歯科医師会の先生方からも要望を頂き、昨年は歯科医師会会員様も対象に募集し、1日の最大人数枠を超えてご予約頂くこととなり受検日を1日増枠して実施しましたが、一部の先生方にはご都合が合わずにご希望通りの受検を頂けない場合も生じました。この場を借りてお詫び申し上げます。

日常診療でお忙しい先生方が快く受検できるようにと、日曜日に行っていますが、概ねご好評頂いたように思います。医療サービス課、光学医療診療部、放射線部、検査部スタッフが協力して事前に協議し、綿密な検査スケジュールを組むことで、スムーズに検査を

回って頂くように準備しましたが、一日で行える最大枠の先生方に受検頂いていたこともあり、少しお待ち頂く場面も出ました。先生方には受検後にアンケートという形でご意見を頂いておりますので、今年以降に反映して、より進化した人間ドックを実施していきたいと思っています。

先生方は普段の自己健康管理が困難な場合が多いと思います。私たち一同は、大学病院診療レベルの高水準な検査評価を行い、先生方にご満足頂けるドックを目指しています。今年度以降も先生方のご意見を頂きながら継続実施したいと思いますので、受検のほどよろしく願います。次年度もお待ちしております。

問合せ先 臨床検査科 TEL&FAX：0853-20-2559

実施日	検査内容(件)	基本	脳ドック	上腹部ドック	胃腸ドック	乳癌ドック	胸部CT	頸椎症ドック	腰痛症ドック	骨粗鬆症	心臓超音波	動脈硬化	受診人数(人) (男/女)
2014年	9月14日	4	6	2	6	1	3	1	1	0	2	1	9 (7/2)
	10月5日	6	0	5	3	0	0	0	0	0	0	0	7 (5/2)
	合計	10	6	7	9	1	3	1	1	0	2	1	16 (12/4)
2015年	9月27日	15	9	12	9	3	5	2	2	4	9	7	18 (15/3)
	10月25日	18	8	10	9	3	7	3	4	4	7	10	22 (18/4)
	11月1日	12	8	5	7	2	7	2	1	2	4	6	15 (12/3)
	合計	45	25	27	25	8	19	7	7	10	20	23	55 (45/10)

医師会人間ドック実施状況



平成28年1月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



平成28年1月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース
2016年1月

お知らせ

胆管空腸吻合部狭窄に対する 磁石圧迫吻合術を実施しました

消化器・総合外科 診療科長
助教

たじま よしつぐ
田島 義証
はやし ひこた
林 彦多

症例は 70 代女性。胆嚢癌に対する胆嚢摘出＋肝外胆管切除再建術後の胆管空腸吻合部狭窄に起因する急性閉塞性化膿性胆管炎を発症。内視鏡的胆道ドレナージが困難で、経皮経肝的胆道ドレナージ(PTBD)で減黄。その後、カテーテル操作による内瘻化を複数回試みましたが困難で、治療開始から8週が経過し、再開腹術も考慮しましたが、より侵襲の少ない磁石圧迫吻合術(MCA)を行う方針としました。MCAは小児のピップエレキバン誤嚥症例で、小腸壁を挟んで接着した2個の小磁石が小腸壁に瘻孔を形成したことをヒントに開発された技術で、親磁石と子磁石で狭窄部を挟むことで吻合口を形成することができます。本症例では、胆管側から子磁石、腸管側から親磁石(図1, 2)を挿入しました。経過は良好で、MCA施行後14日目に開通、35日目に退院しました。

今回の治療は医学部医の倫理委員会の上の承認を得て実施しております。

謝辞：ご指導頂いた国際医療福祉大学病院放射線科山内栄五郎先生、消化器内科、放射線科の皆様、病院長ならびに病院事務局各位のご協力と御理解の上に成り立ったものです。心から感謝申し上げます。

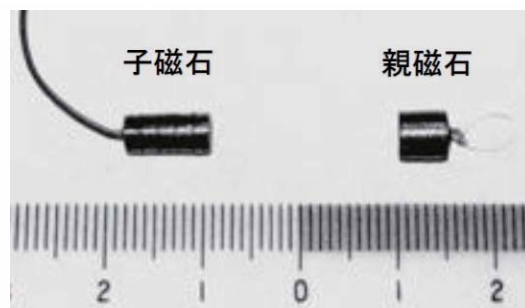


図1. 親磁石と子磁石の構造

(スケールは1mm/1目盛り)

子磁石にはワイヤー、親磁石には分銅状のフックが付いている。

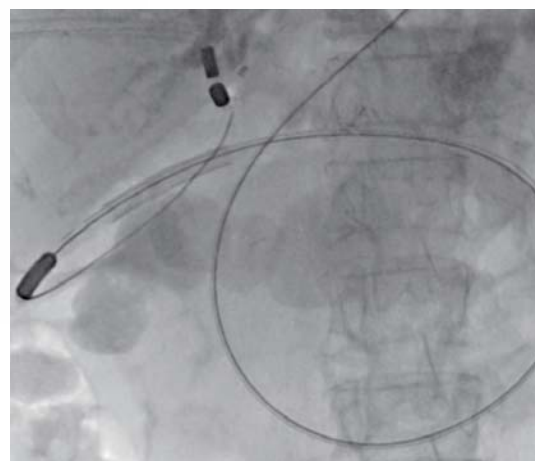


図2. 磁石の挿入

PTBD 瘻孔から子磁石を挿入。親磁石はダブルバルーン内視鏡で留置したガイドワイヤーに親磁石のフックを通し、イレウスチューブでこれを押し込み挿入した。

問合せ先 消化器・総合外科 TEL：0853-20-2232



平成28年1月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース
2016年1月

お知らせ

病児・病後児保育室について

総務課総務係

当院病児・病後児保育室「ニコニコうさぎ」は、平成27年12月より出雲市の病児保育事業に適用され、利用料金等を次のとおり改正いたしました。

① 利用時間

平日の午前8時から午後6時まで

※土曜、日曜、祝日、年末年始は休業

- 基本時間：午前8時30分から午後5時30分まで
- 延長時間：午前8時から8時30分まで及び午後5時30分から6時まで

② 利用料金

- 基本料金：1,000円(昼食、おやつ代を含む)
- 延長料金：各500円
- シーツ代：150円(1回につき)
- 紙おむつ代：30円(1枚につき)

③ 施設見学、利用予約の連絡先

- ニコニコうさぎ(直通)：090-8999-3390

④ その他

- 保育室利用の前に、当院救命救急センターを受診される場合は、当直小児科医師に連絡票を作成してもらってください。(文書料2,160円)
- 利用手順等の詳細はHPをご覧ください。

<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/usagi/nikousa.html>



問合せ先 総務課総務係 TEL：0853-20-2016



平成28年1月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース
2016年1月

お知らせ

島大病院では 幅広い疾患領域に対する 治験を実施しています！

当院は、治験推進施設として、内科・皮膚科・泌尿器科・精神科・眼科・麻酔科・産科婦人科・耳鼻咽喉科など、様々な領域の治験を実施しています。

治験に関する情報は、ホームページ

<http://www.shimane-u-tiken.jp/> で公開していますが、創薬ボランティア(治験にご協力いただける方)を募集している治験について、一部、ご紹介いたします。



試験名	対象疾患 (診療科)	主な選択基準	主な除外基準	治験 参加期間	募集期間 (予定)
血管新生緑内障 を有する日本人 患者を対象とし たアフリバルセプ トの硝子体内投 与による有効性、 安全性及び忍容 性を検討する無 作為化二重遮蔽 比較対照第Ⅲ相 試験	血管新生緑内障 (眼科)	☐ 20歳以上の男女 ☐ 前眼部(虹彩及び隅角)の新生血管が認められ血管新生緑内障と診断されたもの ☐ 前眼部(虹彩及び隅角)の血管新生により治験対象眼の眼圧が25 mmHg超のもの	☐ NVG以外の原因で隅角が閉塞しているもの ☐ いずれかの眼又は眼周囲に感染のあるもの、あるいは感染の疑いのあるもの ☐ 治験対象眼の眼内に重度の炎症のあるもの ☐ 片目が失明しているもの ☐ 治験対象眼に60日以内に抗VEGF薬・副腎皮質ステロイド注射剤の投与を受けたもの ☐ 治験対象眼にろ過手術又は後部硝子体切除術を含む外科的治療を受けたもの	13～15週間 治験薬使用期間:9週間	2016年 3月末 まで
パーキンソンニズ ムを伴うレビー 小体型認知症患 者を対象とした AD-810Nの検 証的試験 <第3相試験>	パーキンソンニズ ムを伴うレビー 小体型認知症 (精神科神経科)	☐ DLBの臨床診断基準改訂版でprobable DLBと診断された患者(パーキンソンニズムの出現は必須) ☐ 20歳以上90歳未満の外来患者 ☐ L-DOPA/DCI合剤を観察期開始前12週間以上連続して服薬中	☐ DLB以外のパーキンソン症候群患者 ☐ 認知症を伴うパーキンソン病患者 ☐ ヴニサミド服薬歴のある患者 ☐ 合併症としててんかんを有する患者	60W 治験薬使用期間:56W	2016年 9月末 まで

該当する患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひ、当院へご紹介いただきますようお願いいたします。

問合せ先 臨床研究センター治験管理部門

TEL : 0853-20-2492 FAX : 0853-20-2495 E-mail : tiken@med.shimane-u.ac.jp

お知らせ

島大病院ニュース

平成28年1月発行

編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会

問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当

TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063

◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

